

# 交流人口拡大に向けた研修 (11/16~17) 道の駅・防災・農業振興

総務文教常任委員会が所管する防災対策、産業厚生常任委員会が所管する農業振興、ポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会で検討している交流人口拡大対策に取り組んでいる、福島県会津坂下町、猪苗代町を訪問した。

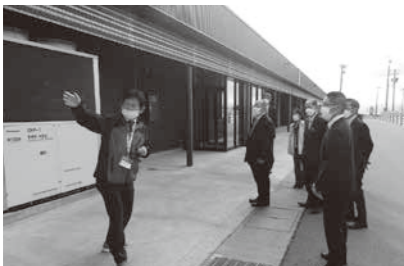


会津坂下町役場にて町農業振興の説明 (11/16)

会津若松出身の落語家 三遊亭兼好師匠と農作業で汗を流し、農業の実態を知っていたら、農産物等を広くPRするプロジェクト。農業体験や寄席を通して、落語家と参加者の相互交流を推進している。田植えから稲刈りまでプロジェクトの皆さんと一緒に、皆さんの笑い、美味しさが詰まった会津坂下産コシヒカリは「兼好米」として販売している。プロジェクト実行委員からは、田植えや稲刈りに行われる寄席や、東京で行われる兼好師匠の寄席などを通じた交流活動についても説明を受けた。

**会津坂下町**  
(人口1万4350人、議員定数14人)  
「農・笑・交プロジェクト」

残11%は農協、商工会、金融機関(出資)で来場者1日平均2731人、売上高は6億1000万円、黒字経営となっている。



猪苗代町道の駅裏手の防災倉庫 (11/17)

猪苗代町は、磐梯山、猪苗代国設スキー場、猪苗代湖などの観光資源に恵まれ、年間観光客数はコロナ禍前までは200万人であったが、現在でも164万人となっており観光の町である。また、磐越自動車道と国道49号線が町内を横断していることから、国から道の駅建設の要請があり、東日本大震災の教訓を踏まえ、あらゆる災害に対応した防災機能を併設し、平成28年11月19日にオープンした。敷地面積3万2988㎡(ヘリポート含む)、建築面積2503㎡(備蓄倉庫含む) 事業費合計24億9800万円(国交付金3億8400万円、福島県負担1億2800万円、地方債14億3000万円、一般財源5億8300万円)。運営は、株式会社道の駅猪苗代(資本金5600万円、うち町89%)

**猪苗代町**  
(人口1万3150人、議員定数15人)  
「防災道の駅、観光振興」

最上町のトップである高橋重美町長並びに笠原栄副町長から最上町の町づくりと道の駅事業化、スキー場の運営について講演を受けた。

・道の駅「やな茶屋」付近に建設を予定している道の駅は規模として2300㎡、事業費2億5000万円(物価高で建設コストが上がる見込み)、財源として国からの補助と過疎債を予定。運営は指定管理を予定している。東北中央自動車道が開通した今こそ建設すべきと判断した。

・スキー場 利用客は2万7000人位で減少している。健康づくりの観点から町民の利用はすべて無料としている。収支は3000万円程度赤字となっているが、温泉、宿泊施設への波及効果につながることから公益的な役割を担う施設として継続していく。

インターハイ、国体が開催できるのは県内で蔵王と赤倉だけであり、町民以外の誘客は競技スキーに特化していく。



高橋最上町長からの講演 (11/30)

## 新年のごあいさつ

### 「ポストコロナに向けて」



新年明けましておめでとうございます。今冬は、十二月中旬から大雪注意報が発令されるなど雪が多くなっておりますが、町民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、小学校の統合、これまで慣れ親しんできた中央公民館機能の移転など、町民の皆様にとりましては大きな変化の年と感じた方もいらっしゃるのではないかと思います。

また、コロナ禍の影響に加え、水稲の作況指数が「98のやや不良」となり、さらには、電気料、ガソリンなどの値上げから生産コストが上昇し、急激な物価高となっています。国の物価高騰対策や県の対策を見極めながら、町の実情にあった対策を講じていく必要があります。

町議会では、ポストコロナに向けて町の活性化方策や、町の大きな課題の一つでありますグリーンバレー神室のあり方をより良い方向にするため「ポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会」を設置して検討を重ね、九月定例会期間中の議会全員協議会で、議会としてのグリーンバレー神室の方向性について町長に意見書を提出し、執行部と協議を行ったところでございます。

さらには、全国的に人口減少が大きな課題となっており、町でも様々な対策を行ってきたところではありますが、十一月末の金山町の人口は、4997人と、想定より早く5000人を割る状況となっております。交流人口、関係人口の拡大方策についても検討をしております。

今年も、跳躍力にたけていることから飛躍、向上の象徴、そして、人懐っこく、温厚なことから家庭円満で子宝に恵まれるとされています。

令和七年一月一日には、金山町が誕生して満百歳を迎えます。官民が一体となって絆を深め、ポストコロナに取り組み、百周年に向けて元気で活気がある町に飛躍する年となりますよう期待するものです。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸、そして、未来に向けて明るい第一歩を踏み出せる年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和五年一月吉日

金山町議会議長 矢口政一



後列左より 星川智子議員 須藤典夫議員 沼澤道也議員 中村忠行議員 大場洋介議員  
前列左より 栗田保則議員 柴田清正議員 矢口政一議員 早坂憲明議員 寒河江宏一議員  
(改築されたやくし苑にて)